

評価対象年度	平成23年度	<b>施策評価シート</b>	政策	8	施策	23	
施策名	23		生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興	施策担当部局	教育庁、環境生活部		
「宮城の将来ビジョン」における体系	政策名	8	生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	評価担当部局 (作成担当課室)	教育庁 (生涯学習課)		

<b>施策の目的</b> (目標とする宮城の姿)	<p>意欲や興味に応じて学んだり交流したりすることができる環境づくりが進んでおり、多彩な生涯学習活動やその成果が個人の生きがいや地域づくりなどに生かされている。</p> <p>県民の運動実施率が向上し、地域のだれもが年齢・関心・技術に応じてスポーツに親しんでいる。競技スポーツでは、全国や世界で活躍する選手を輩出している。</p> <p>郷土の伝統的な文化芸術が県民の共通財産として保存・継承や活用がなされるとともに、子どものころから一人ひとりの創造性をはぐくむ環境づくりが進み、県民が文化芸術を通して地域づくりや様々な交流を行っている。</p>	
<b>施策の方向</b> (「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の「将来ビジョン・震災復興実施計画」の行動方針)	<p>生涯学習社会の環境づくりに向けた取組を充実させ、学習機関や文化芸術等多様な分野における関係団体とのネットワーク化などにより県民の自主的な学習活動を支援する。</p> <p>みやぎ県民大学の実施などにより、社会の要請する学習機会の確保に向けた取組や、地域の多様な生涯学習活動を支援する指導者等の育成を図る。</p> <p>統合型地域スポーツクラブの育成・支援など、生涯スポーツ社会の実現に向けた環境づくりを推進する。</p> <p>競技スポーツにおいて、指導者育成対策の拡充や、競技力向上に向けた環境の充実を図る。</p> <p>県民が文化芸術に触れる機会を充実するなど、文化芸術活動の振興を図る。</p> <p>地域文化の継承・振興に向けた取組を支援し、文化財の保存・活用を推進する。</p> <p>県民の文化芸術活動を生かした地域づくりや交流を推進する。</p> <p>宮城県図書館・美術館・東北歴史博物館等の拠点の充実と関係機関とのネットワーク構築に取り組む。</p>	

<b>施策に関する社会経済情勢等の状況</b> (全国・隣県・本県の状況、法令・条例・計画等策定の状況等について)	
<p>・各個人が自立した一人の人間として力強く生きていくために必要な知識・技能を身につけるための学習機会の提供が求められている。また、震災からの復興に向けて、個人の学習成果を地域に還元し、地域づくりや生涯学習活動を推進する人材の育成が求められている。</p> <p>・ライフスタイルの変化や生涯学習としての文化芸術へのニーズが高まっているほか、子どもの感性や創造性、コミュニケーション能力の充実のためにも、文化芸術活動への身近な取り組みがますます必要とされている。</p> <p>・震災後の精神的な支えとして、さらには地域コミュニティ復活の核として文化芸術の果たす役割が期待されている。</p> <p>・健康志向の高まりにより、スポーツやレクリエーションに対する関心が高まっている。生涯にわたって、年齢・関心・技術に応じ、様々な形でスポーツに親しみ充実したスポーツライフが送れる県民総スポーツ社会の実現が求められている。</p>	

決算(見込)額 (千円)	年度	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算(見込)額)	平成24年度 (決算(見込)額)	平成25年度 (決算(見込)額)
	県事業費	241,036	2,283,507	-	-

※事業費は「宮城の将来ビジョン推進事業」と「取組に関連する宮城県震災復興推進事業」の合計額(再掲分含む)

※達成度 A:「目標値を達成している」 B:「目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と同方向に推移している、又は現状維持している」 C:「目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と逆方向に推移している」 N:「現況値が把握できず、判定できない」					
目標指標等		初期値 (測定年度)	現況値 (測定年度)	目標値 (測定年度)	達成度
1	公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出数(冊)	3.89冊 (平成20年度)	- 冊 (平成22年度)	4.10冊 (平成24年度)	N
2-1	総合型地域スポーツクラブの設置数(クラブ)	27クラブ (平成20年度)	34クラブ (平成23年度)	35クラブ以上 (平成25年度)	B
2-2	総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率(%)	42.9% (平成20年度)	45.7% (平成23年度)	100% (平成25年度)	B
3	みやぎ県民文化創造の祭典参加者数(うち出品者・出演者等の数)(千人)	1,036千人 (23千人) (平成20年度)	983千人 (12千人) (平成23年度)	1,047千人 (35千人) (平成25年度)	C

## ■ 施策評価（原案）

施策の成果	評価の理由
目標指標等、県民意識調査結果、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたか（「目標とする宮城の姿」に近づいているか）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標指標等については、3つの指標が掲げられているが、震災の影響もあり、目標値に達していない。</li> <li>・図書資料貸出数については、震災の影響で判断できなかった。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブの設置数及び市町村における育成率については少しずつではあるが着実に増加している。</li> <li>・みやぎ県民文化創造の祭典の参加者数については、震災の影響による事業の中止や事業規模の縮小により、目標値を下回った。</li> <li>・県民意識調査では、重視度は概ね5割、満足度は3割と低くなっており、より一層の事業の周知と推進に努める必要がある。</li> <li>・震災の影響により、学習機会や社会教育施設が失われた地域もあるが、その一方で社会の変化に対応し、各個人が力強く生きていくために、学習機会の提供や、震災からの復興に向け地域づくり等を推進する人材の育成が一層求められてきている。また、震災から時間が経過するにつれ、文化芸術に目を向ける時間がとれるようになってきている。</li> </ul>
<b>【評価】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実績及び成果等からは、全体的にある程度成果が出ているが、震災の影響による事業の中止や規模の縮小等がみられ、やや遅れていると思われる。</li> </ul>
やや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以上のことから、震災の影響もあり、施策の目的である「生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興」はやや遅れていると判断する。</li> </ul>

## 施策を推進する上での課題と対応方針（原案）

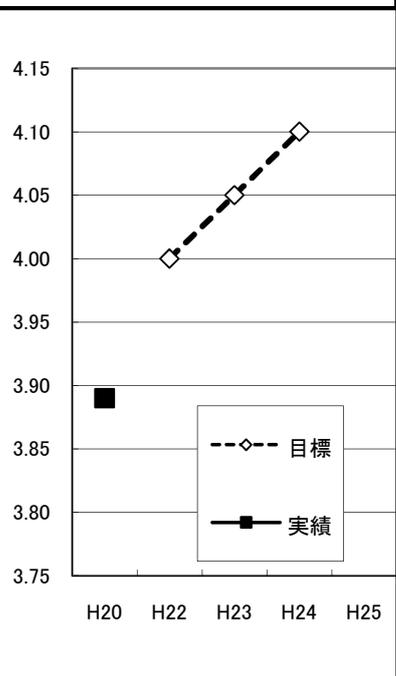
※施策が直面する課題や改善が必要な事項等  
※今年度の対応状況を含む今後の対応方針

<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・震災の影響もあったと思われるが、事業への参加者や利用者の伸び悩みがみられる。</li> <li>・震災により特に被害の大きかった沿岸部地域において、生涯学習の機会や社会教育施設自体及び社会体育施設が失われた地域があり、生涯学習や文化芸術並びにスポーツクラブの育成・支援の推進に支障が生じている。</li> <li>・県として被災地を支援するための文化芸術事業を展開する一方で、県内外の文化芸術団体や個人からの支援活動が活発であることから、それらの団体等に対して被災地の小中学生、文化施設、仮設住宅等のニーズ等に関する情報を適切に提供する必要がある。</li> </ul> <p><b>【対応方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業とも、社会情勢等を踏まえながら、より多くの方が事業に参加したり利用できるように周知等を工夫し、取り組みの目的を達成できるよう引き続き実施していく。</li> <li>・震災により大きな被害が発生した沿岸部地域においては、事業内容を工夫することにより、生涯学習の確保や地域力の向上に努める。</li> <li>・市町村等や、被災地における文化芸術による支援活動に取り組む団体との連携を強化し、文化芸術に関するニーズの把握と情報の受発信の強化を図る。</li> </ul>
---

目標指標等の状況

※目標指標等の達成度 A:「目標値を達成している」  
 B:「目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と同方向に推移している。又は現状維持している」  
 C:「目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と逆方向に推移している」  
 N:「現況値が把握できず、判定できない」

目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
1 公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出数(冊) 県民1人が県図書館をはじめとする公立図書館等で一年間に借りた図書資料数	指標測定年度	H20	H22	H23	H24	H25
	目標値(a)	-	4.00	4.05	4.10	-
	実績値(b)	3.89	-	-	-	-
	達成(進捗)率(b)/(a)	-	-	-	-	-
	達成度	-	N	-	-	-

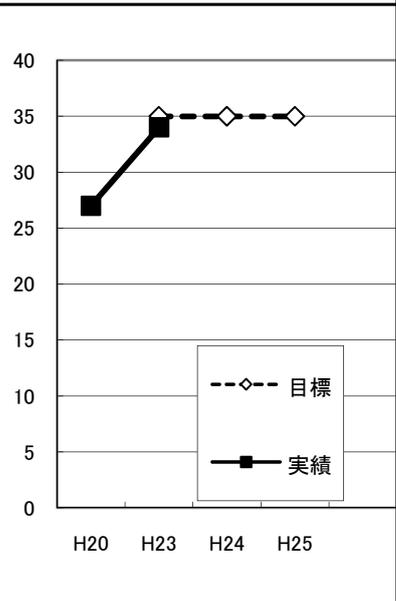


**目標値の設定根拠**  
 近年の県民一人当たりの公立図書館等における図書資料貸出数に関する実績や傾向を踏まえた上で、各年度毎0.5冊の増加を見込み設定した。(評価対象年度H26の目標値は未設定。)

**実績値の分析**  
 平成22年度は、3月11日に発生した震災の影響により貸出数が把握できない図書館等(石巻・北上、女川、南三陸)があることから、達成度の判断ができない。

**全国平均値や近隣他県等との比較**  
 -

目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
2-1 総合型地域スポーツクラブの設置数(クラブ) 県内全域における設置クラブ総数(1市町村に複数のクラブがある場合もある)	指標測定年度	H20	H23	H24	H25	-
	目標値(a)	-	35.00	35.00	35.00	-
	実績値(b)	27.00	34.00	-	-	-
	達成(進捗)率(b)/(a)	-	97%	-	-	-
	達成度	-	B	-	-	-

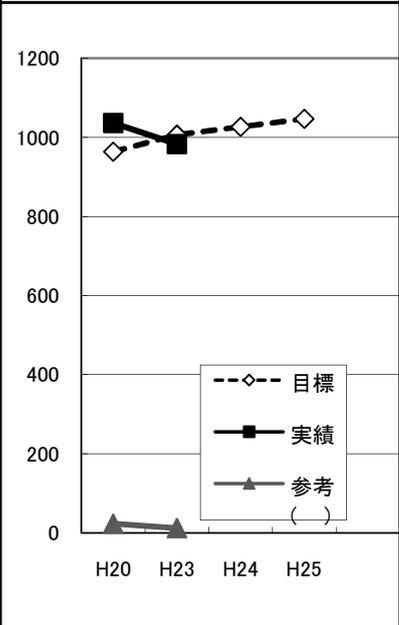
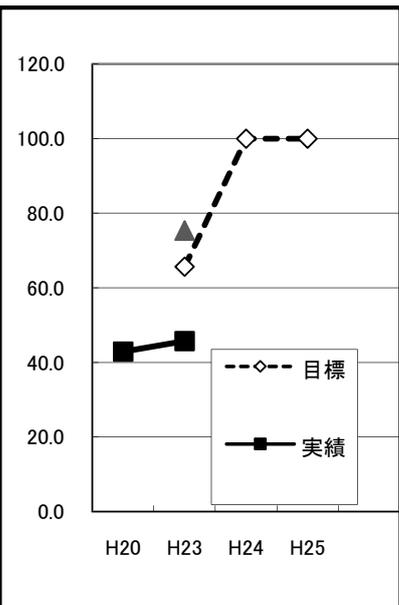


**目標値の設定根拠**  
 国のスポーツ振興基本計画においては、平成22年度までに全国の各市町村に少なくともひとつは総合型地域スポーツクラブを育成するとしている。同時に、将来的には中学校区程度の地域に定着させるとしている。これらを受け、宮城県スポーツ振興基本計画より、平成24年度までに県内全市町村に1箇所以上の設置を目指すとしている。

**実績値の分析**  
 総合型地域スポーツクラブは、平成21年度末には15市町に28クラブが設置され、平成22年度は31クラブ、平成23年度においては3クラブが新設し、現在、34クラブが活動している。

**全国平均値や近隣他県等との比較**  
 平成23年7月現在、全国における総合型地域スポーツクラブの市町村育成状況は、全国平均75.4%である。本県は35市町村中16市町村に留まり、その設置率は45.7%であり、全国最下位である。東北地区においては、秋田県の100%、山形県94.3%、福島県86.4%、岩手県の82.4%と高位県が続き、青森県の56.4%といずれも本県より設置率は高い。

目標指標等名 (下段:説明)		評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
2-2	総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率 (%)	指標測定年度	H20	H23	H24	H25	-
		目標値(a)	-	65.7	100.0	100.0	-
	県内35市町村の、いくつにクラブが設置されているか (設置済み市町村数/35市町村)	実績値(b)	42.9	45.7	-	-	-
		達成(進捗)率(b)/(a)	-	70%	-	-	-
	達成度	-	B	-	-	-	
目標値の設定根拠	国のスポーツ振興基本計画においては、平成22年度までに全国の各市町村に少なくともひとつは総合型地域スポーツクラブを育成するとしている。同時に、将来的には中学校区程度の地域に定着させるとしている。これらを受け、宮城県スポーツ振興基本計画より、平成24年度までに県内全市町村に1箇所以上の設置を目指すとしている。						
実績値の分析	総合型地域スポーツクラブは、平成21年度末には15市町に28クラブが、平成22年度は新たに1町(女川町)に1クラブを新規創設したものの、他の2クラブは既設市での創設となった。平成23年度は、既設市(石巻市・登米市・栗原市)での創設であった。						
全国平均値や近隣他県等との比較	平成23年7月現在、全国における総合型地域スポーツクラブの市町村育成状況は、全国平均75.4%である。本県は35市町村中17市町村に留まり、その設置率は48.6%であり、全国最下位である。東北地区においては、秋田県の100%、山形県94.3%、福島県86.4%、岩手県の82.4%と高位県が続く、青森県の56.4%といずれも本県より設置率は高い。						
3	みやぎ県民文化創造の祭典参加者数(うち出品者・出演者等の数)(千人)	指標測定年度	H20	H23	H24	H25	-
		目標値(a)	-	1,007	1,027	1,047(35)	-
	みやぎ県民文化創造の祭典の主催事業・共催事業・協賛事業に係る総参加者数(うち出品者・出演者等の数)	実績値(b)	1,036(23)	983(12)	-	-	-
		達成(進捗)率(b)/(a)	-	98%	-	-	-
	達成度	-	C	-	-	-	
目標値の設定根拠	参加者数の目標値は、主催事業である小中学生のワークショップ等の体験率約2%を勘案して、毎年度約2%増加するものとして計算した。出品者・出演者数の目標値は、参加者数の増加率に準じて設定した。						
実績値の分析	平成23年度は東日本大震災の影響により、イベント型の事業を全て中止としたほか、ワークショップ・アウトリーチ等の少人数・体験型事業についても市町村の実施希望が例年より減少し、全体として目標値より下回る数値となった。						
全国平均値や近隣他県等との比較	-						



**県民意識調査結果**

調査実施年度 (調査名称)		平成20年度 (平成21年県民意識調査)		平成22年度 (平成23年県民意識調査)		平成24年度 (平成25年県民意識調査)	
この施策 に対する 重視度	重 要	重視の 割 合	14.0%	52.5%	13.6%	52.2%	
	やや重要		38.5%		38.6%		
	あまり重要ではない		20.1%	19.5%			
	重要ではない		5.7%	5.4%			
	わからない		21.7%	22.9%			
	調査回答者数		1,813	1,892			
この施策 に対する 満足度	満 足	満足の 割 合	4.6%	32.0%	4.0%	35.0%	
	やや満足		27.4%		31.0%		
	やや不満		17.1%	16.3%			
	不満		6.2%	4.7%			
	わからない		44.6%	44.0%			
	調査回答者数		1,795	1,876			
調査結果について		<p>・重視度については、「重視」の割合が概ね5割で推移しているが、他の施策と比較すると低いことがうかがえる。</p> <p>・満足度については、「満足」の割合が概ね3割で推移している。「満足」の割合を高めるよう事業展開に努めたい。また、「わからない」と回答した割合が概ね4割で推移していることから、事業の周知をより一層努める必要がある。</p>					

宮城の将来ビジョン推進事業

番号	事業名		事業の状況				
	担当部局・課室名	平成23年度決算(見込)額(千円)	事業概要		平成23年度の実施状況・成果		
1	図書館市町村連携事業	51,191	事業概要		平成23年度の実施状況・成果		
			図書情報の迅速な提供を図るため、県立図書館と市町村図書館とのネットワークの充実を図る。		蔵書検索システムなど市町村図書館の支援システムのネットワーク化の推進 ・市町村図書館からの図書資料貸出依頼に迅速な対応 ・市町村図書館職員の研修会の開催(4回, 192人参加) ・県図書館から県内市町村図書館等に対する年間協力貸出数22,174冊(平成22年度調査)		
	教育庁 生涯学習課		事業の分析結果			年度別決算(見込)額(千円)	
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22
妥当	成果があった	効率的	維持	51,906	51,191	-	-
2	みやぎ県民大学推進事業	2,522	事業概要		平成23年度の実施状況・成果		
			震災からの復興に向け、地域において生涯学習を推進する人材の育成と、その活用を図るため、学校や社会教育施設、NPO等との連携・協力により、多様な学習機会を提供する。		震災による影響から、全講座数が66から49に減少した。NPO等の企画協力による6講座を休止するなど、事業全体が縮小されたことから、全受講者数の大幅な減少がみられた。一方、社会教育施設や団体の職員による積極的な受講が増えるなど、復興に向けた生涯学習推進に向け、学習需要の変化が見られた。		
	教育庁 生涯学習課	震災復興6③	事業の分析結果			年度別決算(見込)額(千円)	
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22
妥当	ある程度成果があった	課題有	拡充	3,380	2,522	-	-
3	広域スポーツセンター事業	7,200	事業概要		平成23年度の実施状況・成果		
			被災者を含むすべての県民の健康増進と活力維持を図るため、地域や年齢・性別、障害の有無に関わらず、だれもがスポーツに親しめるよう、みやぎ広域スポーツセンターの機能拡充により、総合型地域スポーツクラブの創設や運営に対する支援を行う。		震災下であっても、石巻市・登米市・栗原市の3市においてクラブが新設する等、現在34クラブが活動しており、避難所でも地域コミュニティの核として各クラブが果たした役割は大なるものがあつた。また、スポーツ活動を通して地域住民のスポーツ活動を推進するとともに、仮設住宅等における入居者の健康・体力維持に関わる活動を継続している。		
	教育庁 スポーツ健康課	震災復興6③	事業の分析結果			年度別決算(見込)額(千円)	
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22
妥当	成果があった	効率的	維持	6,611	7,200	-	-
4	スポーツ選手強化対策事業	132,581	事業概要		平成23年度の実施状況・成果		
			被災者の活力と希望を生み出し、県民の生涯スポーツへの参画を促進するため、スポーツにおける国際大会・全国大会等で活躍できる選手の育成を支援する。		競技力向上を図るため、(財)宮城県体育協会に競技力向上対策事業費等を補助し、選手強化、指導者の育成等を図った。国民体育大会においては、総合成績21位ではあつたが、震災影響のある中であつて、目標である10位台の維持には届かなかつたものの、概ね評価できる成績であつた。被災下であっても県民がスポーツへの関心を繋ぎ、復興への大きな活力となつた。		
	教育庁 スポーツ健康課	震災復興6③	事業の分析結果			年度別決算(見込)額(千円)	
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22
妥当	成果があった	効率的	維持	134,465	132,581	-	-

		事業概要		平成23年度の実施状況・成果						
5	みやぎの文化育成支援事業	6,556	県民が芸術文化を鑑賞する機会を提供するとともに、県内の文化活動への支援を行う。		巡回小劇場(20回)、県芸術祭・巡回絵画・書道展(2回)、地方音楽会(2回)、高等学校総合文化祭等開催による参加機会提供(総計50,951人参加)。国民文化祭参加支援(6団体135名)、文化庁事業活用による学校の鑑賞機会提供(52公演・派遣18校、児童・生徒等18,320人参加)、河北美術展は開催中止。					
	5		教育庁	事業の分析結果			年度別決算(見込)額(千円)			
	生涯学習課		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	6,765	6,556	-	-
6	美術館教育普及事業	2,868	県民の創作活動や研究、体験の場として、公開講座やワークショップなどの各種教育普及活動を実施する。		「いつでも」「誰でも」自由に活用できるオープンアトリエとしての創作室の運営を基盤に、体験をとおして美術に親しめるワークショップや、美術に対する関心と理解を深めるための美術館講座や美術以外の芸術表現なども幅広く紹介する講演会を実施した。					
	6		教育庁	事業の分析結果			年度別決算(見込)額(千円)			
	生涯学習課		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	拡充	4,234	2,868	-	-
7	瑞巖寺修理補助事業	9,416	国宝「瑞巖寺本堂」及び関連する建造物の修復工事を支援し、良好な状態での保存管理を行い、次代に引き継ぐ。 あわせて、地域の文化財を再認識するとともに、地域の資源としての活用を図り、地域の活性化に役立てる。		瑞巖寺修理事業(平成20～29年度)計画により実施。 ・発掘調査実施 ・本堂解体工事(一部繰越) ・発掘調査に当たり、遺物の状況から調査に不測の日数を要したことから本堂解体工事の一部を繰り越した。					
	8		教育庁	事業の分析結果			年度別決算(見込)額(千円)			
	文化財保護課		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	成果があった	概ね効率的	拡充	17,775	9,416	-	-
8	みやぎ県民文化創造の祭典(芸術銀河)開催事業	10,540	県民に対して、優れた芸術文化の鑑賞と発表の機会を広く提供するとともに、被災市町等の学校や公共施設、福祉施設等に重点的にアーティストを派遣し、子どもたちを中心に地域住民が身近に芸術文化に触れ合うことのできる少人数・体験型の事業を実施する。		平成23年度は東日本大震災の影響により、イベント型の事業を全て中止としたほか、ワークショップ・アウトリーチ等の少人数・体験型事業についても市町村における実施回数が減少。一方で被災地支援を目的に関係機関との連携による事業を拡充。					
	9		環境生活部	事業の分析結果			年度別決算(見込)額(千円)			
	消費生活・文化課	取組5, 取組9に再掲 震災復興6③	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	14,000	10,540	-	-
決算(見込)額計		222,874								
決算(見込)額計(再掲分除き)		222,874								

取組に関連する宮城県震災復興推進事業

番号	事業名		平成23年度 決算(見込) 額(千円)	事業の状況											
	担当部局・課室名		特記事項	事業概要				平成23年度の実施状況・成果							
1	無形民俗文化財再生支援事業		400	事業概要				平成23年度の実施状況・成果							
	教育庁			震災復興1①				震災で活動母体のコミュニティが失われたり、用具が流出・損傷したりして、活動の継続が困難になった地域の祭礼行事や民俗芸能等の無形民俗文化財保持団体に対して、行事や芸能の再開を促すとともに、伝統文化の実施を通じたコミュニティ再生の一助とするために、用具等の備品の整備を支援する。				・雄勝法印神楽保存会ほか一団体に用具整備補助を実施			
	文化財保護課			事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)							
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性								
				妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	拡充	H22	H23	H24	H25				
				-	400	-	-								
2	公立社会教育施設災害復旧事業		42,210	事業概要				平成23年度の実施状況・成果							
	教育庁			震災復興6③				震災で甚大な被害を受けた県立社会教育施設を復旧するとともに、使用が困難になった市町村の公民館等の社会教育施設の再建、復旧に対して支援する。				県立社会教育施設8施設については災害査定が全て完了しているが、工事が完了した施設は1施設にとどまっている。市町村社会教育施設申請予定の206施設のうち、災害査定終了が132施設、交付決定済51施設、実績報告提出施設34施設となった。			
	生涯学習課			事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)							
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性								
				妥当	成果があった	課題有	維持	H22	H23	H24	H25				
				-	42,210	-	-								
3	私立博物館等災害復旧費補助事業		35,417	事業概要				平成23年度の実施状況・成果							
	教育庁			震災復興6③				被災した私立博物館等の復旧を図るため、被災事業者が実施する災害復旧事業に要する費用の一部を補助する。				他の補助制度を利用する博物館で申請が減ったものの、申請予定4施設のうち2施設が事業を完了した。残り2施設(1施設は工事完了分の補助申請済みだが、さらに工事が必要。もう1施設は未着工。)については、平成24年度への継続が必要である。			
	生涯学習課			事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)							
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性								
				妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	廃止	H22	H23	H24	H25				
				-	35,417	-	-								
4	公立社会体育施設災害復旧事業		1,246,786	事業概要				平成23年度の実施状況・成果							
	教育庁			震災復興6③				震災により被害を受けた社会体育施設(総合運動公園、宮城野原公園総合運動場等)の復旧工事を行うとともに、使用が困難になった市町村の社会教育施設の再建、復旧に対して支援する。				(社会体育施設)被害を受け災害復旧事業を行う5施設のうち2施設が完了。3施設は繰越事業。			
	スポーツ健康課			事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)							
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性								
				妥当	成果があった	効率的	維持	H22	H23	H24	H25				
				-	1,246,786	-	-								
5	震災資料収集・公開事業		2,000	事業概要				平成23年度の実施状況・成果							
	教育庁			取組33に再掲				東日本大震災を後世に伝えるため、震災に関する図書・雑誌などを収集するとともに、県図書館内にコーナーを設置し、広く県民の利用に供する。				東日本大震災の被災地の県立図書館として、大震災に関する資料を広く収集、整理して「東日本大震災文庫」を創設する作業を行った。			
	生涯学習課			事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)							
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性								
				妥当	成果があった	概ね効率的	維持	H22	H23	H24	H25				
				-	2,000	-	-								

		事業概要				平成23年度の実施状況・成果							
6	指定文化財等災害復旧支援事業	3,721	震災により被害を受けた文化財の修理・修復を図るため、修理・修復費用に対する補助を行う。				被災文化財所有者等と修理・修復の調整を行い、修理事業の補助を行った。 国指定文化財 17件 県指定文化財 8 計 25						
			8	教育庁 文化財保護課	震災復興 6③	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
						①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	3,721	-	-						
7	被災有形文化財等保存事業	1,500	震災により破損した登録有形文化財(建造物・美術工芸品)を対象に、修理事業等に対する補助を行う。				登録文化財(建造物)1件の修理事業の補助を行った。						
			9	教育庁 文化財保護課	震災復興 6③	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
						①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	1,500	-	-						
8	復興事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査事業	607	復興事業に係る発掘調査について、市町村単独での実施が困難な場合、被災住民及び被災自治体の負担軽減を図るとともに、発掘調査を迅速に推進する必要があることから、県が調査を実施又は調査に協力する。				各市町村と復興事業に係る発掘調査について調整を行った。 発掘調査は、具体的な事業実施が無かったことから実施はない。						
			10	教育庁 文化財保護課	震災復興 6③	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
						①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
妥当	成果があった	効率的	維持	-	607	-	-						
9	「震災復興に伴う特別名勝松島の保存管理検討会」事業	562	特別名勝松島地域の復旧・復興事業を円滑に推進するため、特別名勝としての文化財的価値と復興計画の両立を図るための検討・調整を行う。				震災復興に伴う特別名勝松島の保存管理の在り方検討会を3回実施し、基本方針を示した。 震災復興に伴う特別名勝松島の保存管理の在り方検討会調整会議を3回実施し、各市町村の事業計画等の調整を行った。						
			11	教育庁 文化財保護課	震災復興 6③	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
						①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
妥当	成果があった	効率的	縮小	-	562	-	-						
10	県民会館施設整備事業	727,430	本県の文化芸術活動の中核である宮城県民会館の修繕を早急に実施し、早期の施設再開を目指す。				平成24年6月16日に再開館が決定。						
			14	環境生活部 消費生活・文化課	震災復興 6③	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
						①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
妥当	成果があった	効率的	廃止	-	727,430	-	-						
決算(見込)額計		2,060,633											
決算(見込)額計(再掲分除き)		2,060,633											

